

市政一般質問発言通告書（ 個人 ）

令和7年8月21日

多治見市議会 議長 様

- 7. 8. 22

第 号

会派名 市民ネットワーク

19番議員 氏 名 井上あけみ

質問題名	当市の訪問介護の状況と課題について
質問要旨	在宅介護の要は訪問ヘルパーであるが、介護保険計画9期において、国は訪問介護ヘルパーの報酬基準を引き下げ、ガソリン代、移動時間も考慮されないままである。ヘルパー労働は離職者も相次ぎ、若い人材からも敬遠され存続の危機を迎えている。 都道府県指定の訪問介護事業所のゼロの自治体は全国109町村（昨年度）なった。 以上を踏まえ、当市の状況と市としての支援の可能性について以下質問する。
質問項目①	全国の上記の状況と県下、当市の状況について、市の認識を伺う。
質問項目②	また、担当課との事前聞き取りでは、離職が多く就業者の少ない理由は、報酬の引き下げによるより、在宅訪問そのものが（トラブルが起きやすく）主な原因であるかのような印象を持ったが、市としてトラブルを防ぐ努力等は、できなかったのか？どのようなであったのか？ 伺う。
質問項目③	訪問介護ヘルパーの内、本来の個々の自宅を訪問し、家事援助、介護を行うものと、有料老人ホームなど施設に併設20～30部屋を訪問するヘルパーも同様に一律報酬を下げられているが、この点についてどう考えるか？ 移動時のガソリン代なども考慮されない点について市として何らかの支援をすることはできないか？
質問項目④	一方、個々の自宅まで伺う訪問ヘルパーの苦境をよそに、新規の有料老人ホームや、ケアハウスなどは増加している。当市の個々在宅のヘルパー利用者と、施設併設住宅でのヘルパー利用者の人数とそれぞれの利用回数、給付合計額についてはどのようなか？
質問項目⑤	当市の介護保険の認定状況については、他市と比較するとかなり低いと9期計画のグラフにあったが、どのような理由によるものか？
質問項目⑥	介護保険の計画期間は3年であり、この間の保険料の過不足を調整するための準備基金について現在20億円であった。この基金の一部を個々の自宅を訪問するヘルパーのガソリン代等に充てた場合、どの程度の支出になるか？
質問項目⑦	介護予防・日常生活支援総合事業の「訪問型サービス」を実施しているシルバー人材センターが増えているが、当市のシルバー人材センターについて、同事業の実施を打診もしくは、研修会など提案してはどうか？
質問の相手方	市長、福祉部長 市民

市政一般質問発言通告書（

個人）

令和7年8月21日

多治見市議会



会派名 市民ネットワーク

19番議員 氏名 井上あけみ

質問題名	多治見市の第3セクターとなる事業体への支出について
質問要旨	多治見市は市長の子育て3大公約実現によって毎年合わせて3億5000万円近い支出の増加が必至となった(給食の国の支援未確定)。一方、車の免許返納により、移動の自由を失くした高齢者は増加しており、より利用しやすい公共交通の充実、また、自宅でケアを受ける要支援、要介護の訪問介護のヘルパーの激減により、様々なサービスの充実は急務である。教育にも、今後多くの人材が求められている。 このような状況で、市が関わる第3セクターへの市の出資、予算の投入が適正なのか、以下質問をする。
質問項目①	当市が出資、支出している第3セクターの数と名称について、その出資金の割合についてはどのようなか？ その中で市の職員等（3役含む）が、理事等役員となっているのはどこか？ 経営・運営の安定性については、どのようなか？ 経営困難な事業体があれば、助言、改革等する必要があると考えているのか？
質問項目②	今回、行政改革に挙げられていた「FMPiPi」では代表取締役が交代、市の総務部長が社外取締役の1人として経営にかかわる事になり、再出発する事になった理由は災害時に必要、1度閉局すると、再開局が難しいからという理由だが、具体的にどういうことか？ 総務部長の役割はどのようなものなのか？
質問項目④	多治見市は今後新たに出発する「FMPiPi」にどのような運営、取り組みを望むのか？ (ちなみに、隣の「FM ララ」への自治体の年間放送委託料は可見市 600 万円、美濃加茂市 500 万円、御嵩町 260 万円の計 1400 万円、多治見市は「FMPiPi」に約 2900 万円、土岐市は約 110 万円と聞いている。)
質問項目⑤	「FMPiPi」の名称については、正式名は「株式会社エフエムたじみ」であるが、今後、人口が減っていく中で、1 自治体だけの運営支援では限界があり、もう少し広くくりであった方が内容も広がり、営業もしやすいのではないかと考えるがいかがか？
質問項目⑥	
質問の相手方	市長